

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

中央小	学校	児童数	148
-----	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.39	18.60	29.84	40.24	44.86	9.51	138.47	20.26	50.14
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.60	18.24	34.90	36.87	31.67	9.99	135.07	13.79	51.40
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子は「反復横とび」だけ大阪市を上回る結果となったが、他の項目では大阪市・全国を下回る結果であった。女子は「ソフトボール投げ」が大阪市・全国を上回り、「握力」「反復横とび」が大阪市を上回る結果となった。その他の種目については大阪市・全国を下回る結果であった。体力合計点は男女ともに大阪市・全国を下回る結果となった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」で、男子・女子ともに、肯定的な回答の割合が大阪市・全国平均より下回る結果であった。また、「1週間の総運動時間」の項目において60~419分運動していると回答した児童生徒の割合は、男子は51.6%、女子は60.6%と、大阪市・全国と比べても、男子・女子ともに高い割合となっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「体力の向上・運動の日常化を図るために活動を行う」ことを目標として、年間を通して、運動の習慣づけを行うことに重点を置き、日々の休み時間や体育学習等で様々な運動に取り組んだ。また、年間を通して休み時間に「ペア遊び週間」を行った。休み時間に異学年で交流し、外遊びを実践することで、習慣的に運動を行うことを励行することができた。

依然として、男子、女子ともに、運動することの楽しさに気づけていない児童が多く、運動の習慣になっていない児童が多い。児童に運動の楽しさを伝えるとともに、運動を習慣化していく取り組みを実践していくことが今後の改善点である。日常的に運動に親しみ、運動の楽しさを感じられるよう、体育科の学習を中心としながら、環境整備も含め、体力向上の推進をしていきたい。

